

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2019 年 9 月の経済報告】

令和元年 9 月 25 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。2019 年 8 月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数（内閣府、令和元（2019）年 9 月 6 日発表） （令和元（2019）年 7 月分速報より抜粋）

7 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、先行指数：93.6、一致指数：99.8、遅行指数：104.8 となった。

先行指数は、前月と比較して横ばいとなった。3 か月後方移動平均は 0.76 ポイント下降し、13 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.51 ポイント下降し、14 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 0.3 ポイント上昇し、2 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.60 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.22 ポイント下降し、9 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.2 ポイント上昇し、4 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.07 ポイント上昇し、4 か月ぶりの上昇となった。7 か月後方移動平均は 0.09 ポイント上昇し、2 か月ぶりの上昇となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/201907psummary.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（内閣府、令和元年9月19日頃 公表予定） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

<日本経済の基調判断>

（現状）

・景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。

（先行き）

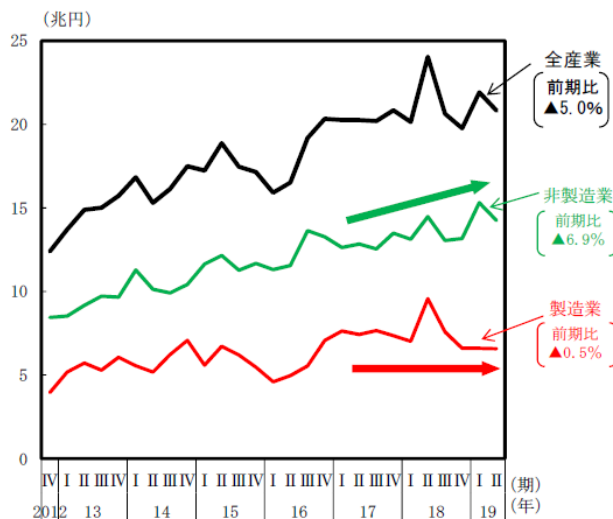
・先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

今月のポイント(1)

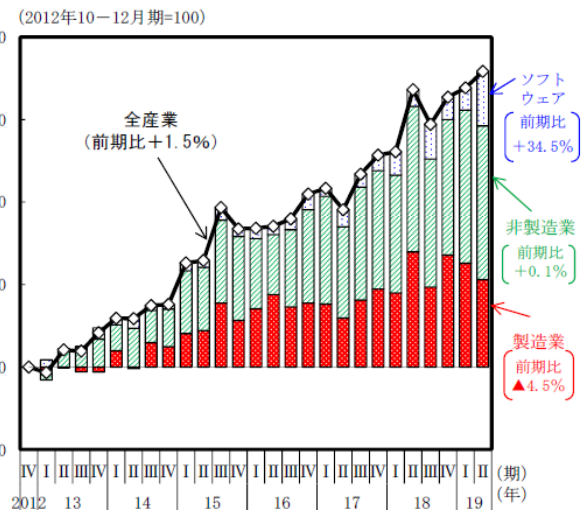
－ 企業収益と設備投資の動向 －

- ▶ 企業収益は、2018年度に過去最高を記録。外需の弱さを背景に製造業では伸び悩んでいるものの、非製造業は底堅く、全体として高い水準を維持している。
- ▶ こうした企業収益の動向を受け、設備投資は緩やかな増加傾向にある。製造業で機械投資に弱い動きがみられるものの、非製造業は底堅く、ソフトウェア投資が高い伸びとなっている。

経常利益は高い水準で底堅く推移



設備投資は緩やかな増加傾向



（備考）1. 財務省「法人企業統計季報」により作成。

2. 左図は、季節調整値。括弧内は2019年4-6月期の前期比。なお、2019年1-3月期の経常利益は、子会社からの配当収入の一時的な増加（2兆円程度、個社IR資料を基にした内閣府の見込み）により押し上げられているとみられる。これを除くと、全産業の2019年4-6月期の前期比は+4.9%となる。

3. 右図は、名目設備投資額（固定資産に新たに付加された額）の季節調整値。製造業、非製造業はソフトウェアを除く設備投資。括弧内は2019年4-6月期の前期比。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdf へ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/09kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和元年9月12日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）
2019（令和元）年7月実績： 機械受注統計調査報告

機械受注総額の動向をみると、2019（令和元）年6月前月比6.3%増の後、7月は同0.1%増の2兆3,550億円となった。

需要者別にみると、民需は前月比6.5%減の1兆853億円、官公需は同11.0%増の2,737億円、外需は同6.0%減の8,041億円、代理店は同1.7%増の1,163億円となった。

民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（令和元）年6月前月比13.9%増の後、7月は同6.6%減の8,969億円となった。このうち、製造業は同5.4%増の3,841億円、非製造業（除く船舶・電力）は同15.6%減の5,189億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	2018年 (平成30年) 7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	2019年 (令和元年) 7-9月 (見通し)	2019年 (平成31年) 4月 (実績)	2019年 (令和元年) 5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)
受注総額	1.7	2.5	-10.4	1.1	7.3	4.3	-6.0	6.3	0.1
民需	1.2	-5.7	-0.9	7.1	0.0	10.7	-8.0	15.6	-6.5
〃（除船電）	1.5	-3.2	-3.2	7.5	-6.1	5.2	-7.8	13.9	-6.6
製造業	-1.0	-4.1	-7.7	2.5	2.8	16.3	-7.4	-1.7	5.4
非製造業（除船電）	3.4	-1.9	-0.3	13.1	-12.5	1.2	-9.0	30.5	-15.6
官公需	17.9	-6.3	-24.1	40.4	19.2	93.4	19.5	-30.0	11.0
外需	-0.5	10.4	-12.3	-14.6	16.5	-24.7	-0.8	6.7	-6.0
代理店	-0.6	4.4	-5.7	1.8	-16.8	4.4	0.4	-13.1	1.7

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1907juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2019年9月13日発表 より抜粋）

【2019年7月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数
～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・製造工業稼働率指数は、102.3 で前月比 1.1%の上昇であった。
- ・製造工業生産能力指数は、97.8 で前月比 0.0%の横ばいであった。

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
	97.8	0.0	-0.6

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
	102.3	1.1	107.6	2.5

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
生産 (速報値)	102.7 (102.7)	1.3 (1.3)	106.9 (106.9)	0.7 (0.7)
出荷 (速報値)	102.5 (102.4)	2.7 (2.6)	105.3 (105.2)	1.9 (1.8)
在庫 (速報値)	104.5 (104.4)	-0.2 (-0.3)	106.4 (106.3)	2.5 (2.4)
在庫率 (速報値)	107.5 (107.4)	-2.1 (-2.2)	107.2 (107.1)	0.7 (0.6)

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2019年7月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

- (1) 7月の製造工業生産能力指数は、97.8で前月比0.0%の横ばいであった。
業種別にみると、電気・情報通信機械工業同0.3%、生産用機械工業同0.4%が上昇し、鉄鋼・非鉄金属工業同-0.4%、その他工業同-0.2%、汎用・業務用機械工業同-0.1%が低下した。
- (2) 7月の製造工業稼働率指数は、102.3で前月比1.1%の上昇であった。
業種別にみると、輸送機械工業同2.7%、パルプ・紙・紙加工品工業同7.9%、電気・情報通信機械工業同1.0%等が上昇し、電子部品・デバイス工業同-4.6%、化学工業同-1.6%、石油・石炭製品工業同-6.0%等が低下した。

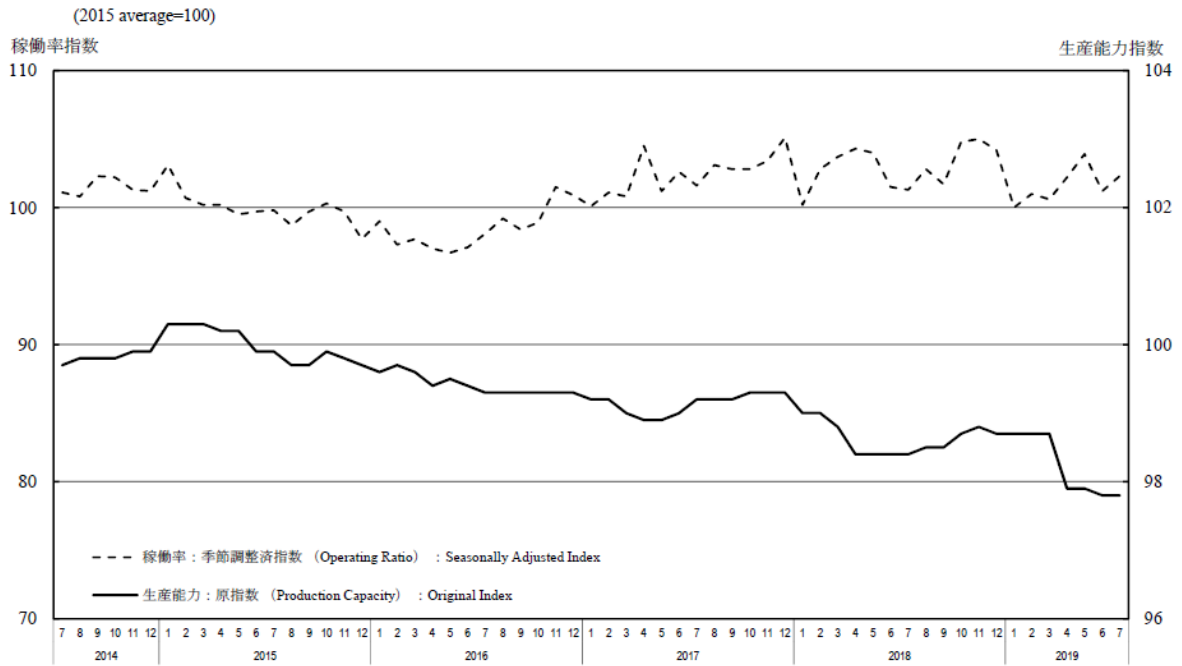
製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015= 100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio				Year and Month
	原指数 Original Index		前年(同月)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)			前月(期)比 %Change From Previous Month(Quarter)		前年(同月)比 %Change From Previous Year		
2016年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	C.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 Ⅱ期	98.4	-0.4	-0.6	103.3	1.1	101.8	0.6	Q2 2018
Ⅲ期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3
Ⅳ期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4
2019年 Ⅰ期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
Ⅱ期	97.8	-0.9	-0.6	102.4	1.9	101.0	-0.8	Q2
2018年 5月	98.4	0.0	-0.5	104.0	-0.3	99.8	3.0	May 2018
6月	98.4	0.0	-0.6	101.5	-2.4	103.5	-3.3	Jun.
7月	98.4	0.0	-0.8	101.3	-0.2	105.0	0.3	Jul.
8月	98.5	0.1	-0.7	102.8	1.5	97.1	-0.3	Aug.
9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep.
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.9	Oct.
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov.
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May
6月	97.8	-0.1	-0.6	101.2	-2.6	101.6	-1.8	Jun.
7月	97.8	0.0	-0.6	102.3	1.1	107.6	2.5	Jul.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)

Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdf へ)

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201907nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2019年8月30日発表より抜粋)
最新版月別出荷金額

【2019年6月概況】

- ・ 2019年6月のグローバル出荷額は2,935億円、前年比89.7%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比90.3% 1,244億円）、接続部品（同92.6% 798億円）、変換部品（同87.8% 521億円）、その他の電子部品（同84.6% 370億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比90.5% 727億円）、米州（同95.4% 310億円）、欧州（同88.8% 304億円）、中国（同84.9% 980億円）、アジア・その他（同95.4% 616億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2019.08.30 発表 : 毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2019年度						2019年度累計		
	4月		5月		6月		4月-6月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,141	100	3,039	94	2,935	89	9,115	95	
(日本)	715	92	697	96	727	90	2,140	93	
品目別	受動部品	1,350	104	1,294	96	1,244	90	3,889	96
	コンデンサ	974	107	927	97	896	90	2,797	98
	抵抗器	129	95	121	90	117	83	368	90
	トランス	37	94	38	94	36	89	112	92
	インダクタ	206	101	203	95	191	92	601	96
	その他	2	82	2	74	3	97	8	84
	接続部品	814	100	819	97	798	92	2,433	96
	スイッチ	394	117	398	112	372	104	1,165	111
	コネクタ	415	89	416	86	421	84	1,253	86
	その他	4	98	4	84	4	91	13	91
	変換部品	535	92	525	95	521	87	1,582	92
	音響部品	115	67	117	98	116	75	349	78
	センサ	195	93	196	93	196	94	588	93
	アクチュエータ	223	114	212	97	207	89	643	99
	その他の電子部品	440	99	399	86	370	84	1,211	90
	電源部品	164	85	159	88	157	84	481	86
高周波部品	276	110	239	84	213	84	729	92	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額 (億円)	2019年度						2019年度累計	
	4月		5月		6月		4月-6月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,141	100	3,039	94	2,935	89	9,115	95
日本	715	92	697	96	727	90	2,140	93
米州	347	106	346	103	310	95	1,004	101
欧州	340	102	346	102	304	88	991	98
中国	1,060	98	1,021	88	980	84	3,062	90
アジア他	681	110	631	97	616	95	1,929	100

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) HP をご参照下さい。

http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上